

# すて〜じ通信



発行 平成21年11月1日 第 2号

〒052-0014

北海道伊達市舟岡町334番地9 あい・ぷらざ1F

社会福祉法人 北海道社会福祉事業団

胆振日高障がい者就業・生活支援センター すて〜じ

Tel / 0142-82-3930 fax / 0142-82-3933

E-mail / [stage@dofukuji.or.jp](mailto:stage@dofukuji.or.jp)

## こんにちは すて〜じです！

胆振日高地区の障がいを抱える人たちの就労と生活に関わる相談支援機関としてスタートしてから、早いもので半年が経ちました。

当センターの機能や役割が圏域の障がいを抱える方々、ご家族、地域住民や関係機関、各企業の皆様に、まだまだ十分に知られているとは言えませんが、ご相談者、また、関係各機関の皆様とお会いする機会も増え、これからも徐々に就労支援のネットワークが広がるように努めてまいりたいと思います。圏域内においても地域資源や雇用情勢は地域によって異なりますが、それぞれの地域に合わせた取り組みを皆様と協力しながら進めていきたいと思っております。



### <11月の予定>

- 10日(火) 定期訪問活動～西胆振地区
- 11日(水) // ～西胆振地区
- 12日(木) // ～日高地区
- 13日(金) // ～東胆振地区

※11月は市町福祉部、ハローワークを訪問させていただく予定です。

18日(水) 東胆振・日高圏域就労支援合同研修会～新ひだか町

19日(金) 第1回登別市就労相談窓口開設日

### <12月の予定>

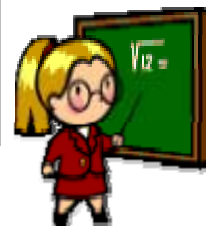
7日(月)～11日(金) 定期訪問を予定しています

※12月は就労支援サービス事業所等を予定しています。(日程については後日ご連絡致します)

11日(金) ～室蘭地区、伊達地区対象「精神障がい者雇用促進のための意見交換会」

※社会福祉法人タラプi-box さんとの共催です。

第21回西胆振地区障がい者雇用支援地域合同会議を開催しました。



去る、9月18日（金曜日）むろらん広域センタービル2階の室蘭保健所会議室において、「平成21年度第2回西胆振地区障がい者雇用支援地域合同会議」を開催致しました。

当日は12の構成機関より15名の出席をいただきました。河原合同会議座長の開会挨拶に始まり、事務局よりアクション2009等の進捗状況等について事務報告を行いました。その後社団法人北海道高齢・障害者雇用促進協会の障害者雇用支援部障害者助成納付課長工藤和功様より「障害者雇用納付金制度に基づく助成金」について大変参考になるお話を戴きました。

引き続き行われましたディスカッションでは、大垣副座長中心に活発な意見交換、質疑応答が行われました。

納付金制度の利用傾向についての具体的な内容についての説明や、障がい者の雇用における職場（作業環境の整備等）の改造、安全対策の為の積極的活用について実例を基に説明・紹介いただきました。

障がい者にとって「働く」という意味や、障害基礎年金制度創設以前との就労意欲の違いなども話題になりました。

またネットワーク構築に関連した会議・研修会等の大切さ、必要性と併せて、目の前の障がいを抱えている方に対して、いかに支援していくか、いかにして彼らの想いに応えていくのかと言う強い思いが「職場開拓は足で稼ぐ」と言う考えに繋がっていき、今日の支援体制が築かれ、充実したものとして機能されている事などがあげられました。

更には若年齢層ほど、就職した後に離職していく率が高いという統計にもあるように近年の教育界においても大きな問題となっているという話も出されました。



限られた時間ではありましたが、貴重なお話が満載の第2回会議となりました。

次回の合同会議は12月を予定しておりますので、年末慌ただしくなる時期ですが、構成機関の皆様には是非ご参集下さいますようお願いいたします。





第21回東胆振・日高地区障がい者雇用支援地域  
合同会議を開催しました。

日高町で「第2回東胆振・日高地区障がい者雇用支援地域合同会議」を13の構成機関の出席をいただき開催致しました。事務局からの事務報告の後、西胆振地区合同会議同様、雇用促進協会助成納付課工藤課長様より助成金の活用方法、活用状況等について実例を基に分かり易いお話をいただきました。また工藤課長様からは、就労支援における雇用促進協会の役割についてもお話しされ、社会資源の一つと捉え、助成金を障がい者の就労支援を進め、雇用拡充の為のツールとして活用していただければと話されていました。

今回の会議では、東胆振・日高圏域における雇用状況等を交えた就労支援取組状況について、参加された構成機関より報告・説明がありました。

各機関より報告された中で多かったのが、地域に就労（実習含む）の受入企業が少なく、これは依然先行きの見えない景気の悪化が大きく影響していると考えられるとの内容でした。

また、就労支援スタッフの不足も大きな問題として挙げられていました。スタッフが少ないこともそうですが、加えて、経験不足の為スキルアップが図れない等が報告されています。

これらの問題・課題が浮き彫りになったことで、次回の会議では更に踏み込んだ形での意見交換を行う予定です。



障害者雇用納付金制度に基づく助成金について詳しくお知りになりたい方は下記の雇用促進協会までお問い合わせ下さい!!!

社団法人北海道高齢・障害者雇用促進協会

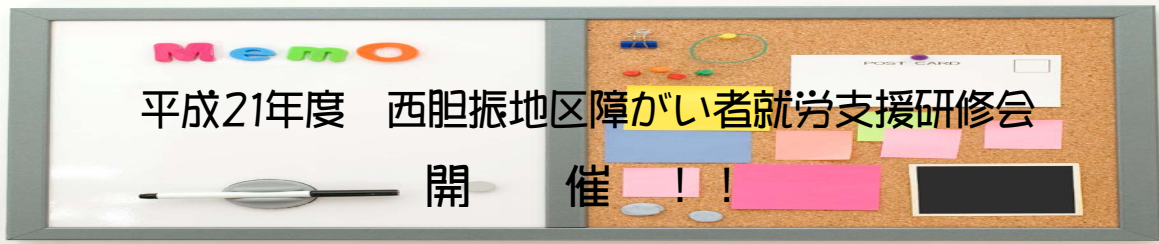
障害者雇用支援部 障害者助成納付課

TEL/011-242-8581 FAX/011-242-9615

～平成21年度第二四半期（7月～9月）の実績報告です。～

登録者数	31人	知的障がい（22人）精神障がい（3人）身体障がい（2人） 発達障がい（0人）その他（4人）
相談内容	相談支援総件数 就職者件数 実習あっせん件数 定着支援件数	219件 4件 7件 11件





10月15日（木）西胆振地区障がい者就労支援研修会を伊達市社会福祉協議会講堂にて開催しました（西胆振地区障がい者雇用支援地域合同会議、西胆振心身障がい者職親会、胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて〜じの共催）。胆振日高圏域の就労支援事業所、行政機関、雇用事業所、特別支援学校、相談支援機関の方々等、総勢80名の参加をいただきました。

お忙しい中、参加されました皆様、また、講師をお引き受け下さいました高谷様、田之畑様、本当にありがとうございました。今回の研修会を通して、就労支援の輪が更に広がり、より身近な地域で取り組みが進んで行くきっかけとなれば幸いです。



#### 講演Ⅰ「就労支援の実際～職場開拓から定着まで～」

講師 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぶれん 高谷さふみ氏

まずは相談者の立場になって感じられることの大切さをゲーム等交えて話されました。また、最近では「働く力」「ワークパーソナリティ」が十分に形成されていない方が多く、就労前の基礎訓練の段階で、しっかりと行うことが必要であると説明されました。職場開拓については、企業へのアプローチなど支援機関の企画力が問われること、断られてあたりまえの精神で1日25件の企業への電話かけを行っているという実践の報告等が話されました。職場定着支援では、指示の段階を踏まえ、いつも同じ合図で示すことで作業が身につく、定着を促すことにつながる、との話がありました。全体を通して、分かりやすく、実践的なお話をいただきました。



#### 講演Ⅱ「就労支援におけるビジネスマナー」

講師 フレームワークス 田之畑慶子氏

就労支援をする上で、実際に企業の方々と接する時に身につけておかなければならない基本的なマナーについてお話をいただきました。

第一印象は、見た目が大きく影響するので、服装や挨拶に気をつけることを基本に、実際の挨拶の仕方や名刺の渡し方など、ポイントをわかりやすく解説して下さいました。

就労支援に関しては、企業への電話かけのマナーについての解説と、また、結果と電話をかけた件数は比例する、と話され、まずは行動すること、経験を積むことで、話し方、接し方のマナーも身につくし、結果もついてくる、という話が印象的でした。



フットサルのその後です……………先日初めて某所体育館をお借りして練習をしました。二十数年間楽をしてきた体は動かない、走れない、すぐ休みたがる。次回までにせめて30分動けるよう各自自主的に努めるよう指令を出しました。でも久しぶりに体を動かし気持ち良かったです。帰った後のビールの美味しかったことは言うまでもありません！